

令和2年度（令和元年度分） 桐生市事務事業総合評価票

I 事業の位置付けと概要

1 事務事業名 市民活動推進事業		整理番号 10	
		担当 部・局 課・所・室 係(担当)	市民生活部 地域づくり課 地域づくり係
2 予算科目	2 款 1 項 14 目	6 根拠法令等（主なもの）	
3 事業期間	年度から 年度まで	7 新生総合計画での位置付け（基本計画） ○	
4 事務分類	法定受託事務 ○ 自治事務	8 総合戦略への掲載	
5 国県補助		9 市政運営方針での位置付け	
		10 市長公約での位置付け 有 No 48	
11 事業概要	目的		誰・何を（対象）
	方法		どのような状態にしたいか（意図）
ボランティアや市民活動に携わる人々をはじめとする市民		自立的かつ自発的な市民活動や社会貢献活動を支援し、持続可能な地域づくりを可能にしたい。	
○ 直接実施 委託・指定管理 補助金 貸付		その他（ ）	
11 事務事業の詳しい内容（R1年度実施した内容を必ず記載）			
■事業概要 少子高齢化の進行や地域コミュニティの変容等、市民を取り巻く環境が大きく変化しているなか、自立的かつ自発的な市民活動を推進し、持続可能な地域づくりを可能にするための業務を行った。 ・地域との関わり方を見直す庁内プロジェクトの実施 部門横断的な視点をもって地域との関わり方を見直し、真に住民に寄り添った事業のあり方を研究・実践するプロジェクトを行った。なお、当プロジェクトの中で、多様な主体が関わり合い、地域課題に取り組む第一歩を支援するための「地域づくりワークショップ」を企画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となった。 ・市民活動応援サイトゆいねっとの管理 団体より発信申請があった活動の承認等、全体管理者としての業務を行った。 ・「協働による地域づくりシンポジウムin桐生」の実施 地域のNPO、自治組織、行政機関、企業等が、協働やSDGsについて学び、多様な主体が協働して地域課題を解決する機運を醸成し、地域づくりを担う人材を育成するためのシンポジウムを実施した。（群馬県、きりゅう市民活動推進ネットワーク、桐生市共催事業） ■改善内容 「ゆいねっと」の周知活動を、群馬県立桐生高等学校のSSH事業に伴う出前講座の際に行った。 ■支出 ・アバウトネット：409,200円（ゆいねっと システムソフトウェア保守委託料（264,000円）サーバー等賃借料（145,200円）として） ・群馬大学 社会情報学部 准教授 小竹 裕人氏 30,000円（講師謝礼 「協働による地域づくりシンポジウムin桐生」～持続可能なまちづくりのために～）			
12 主な業務内容（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）			
業務名		業務内容概要	
地域との関わり方を見直す庁内プロジェクトの実施		実施状況 令和元年度 10回実施（ミーティング11回（うち1回中止） 地域づくりワークショップ1回（予定していたが中止））	
市民活動応援サイトゆいねっとの管理		令和元年度末利用状況 団体登録数：85 個人登録数：77 イベント情報発信数：84 ボランティア情報発信数：8 お知らせ発信数：25	

II 事業実績(D0)

1 事務事業コスト		単位	30年度（実績）		令和元年度（実績）		令和2年度（見込み）	
コスト	事業費(人件費除く。)		千円	492		496		470
	人件費		千円	4,320		3,960		3,960
	内訳	職員	人/千円	0.6人	4,320	0.55人	3,960	0.55人 3,960
		嘱託・臨時職員・パート	人/千円		0		0	0
	総コスト		千円	4,812		4,456		4,430
市民1人あたり（R2.3.31時点）		円	44		41		40	
財源内訳	国・県支出金		千円					
	起債		千円					
	受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）		千円					
	その他特財 一般財源		千円	4,812		4,456		4,430
2 活動指標	ゆいねっと情報発信数	目標値	件	110		121		133
		実績値	件	109		117		
	達成度	%	99.1		96.7		0.0	
	目標値							
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	ゆいネットマッチング率 (ボランティア募集のみ)	目標値	%	100		100		100
		実績値	%	94		100		
	達成度	%	94.0		100.0		0.0	
	目標値							
実績値								
達成度	%							

III 事業の評価(CHECK)

		事務事業名	市民活動推進事業
どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。			
【有効性】	B	<p>■地域との関わり方を見直す市内プロジェクト 平成30年度に実施した地域づくりワークショップに参加して得た、地域が抱える問題や、行政の関わり方を基に、今後の市の取組の方向性を検討することができた。</p> <p>■ゆいねっと 桐生高校への「ゆいねっと」の周知活動などを通して、個人登録者数が前年+12名増加した。ただし、情報発信数の目標を達成することができなかった。</p>	
【効率性】	B	<p>■「ゆいねっと」イベント詳細・ボランティア募集詳細・お知らせ詳細1件の閲覧に係る管理費用 H29年度・・・約39,9円 H30年度・・・約31,5円 R1年度・・・約43,6円 ※ページの閲覧数が減少し、消費増税により委託料、保守管理料が増加したため数値が悪化した。 ※現在バナー広告の応募がないため、一般財源にて委託や改修を行っているが、バナー広告の掲載があれば費用の一部を広告収入にて賄える。</p>	
【必要性】	B	<p>本事業の効果はすぐには表れず、中長期的な視点で続けていくことで徐々に表れてくるものである。また、その特性から成果の数値化も難しい。ただし、個人化の進展やそれに伴うコミュニティの希薄化等、地域社会を取り巻く状況が変化していくなか、行政がその変化に対応していくことは重要であり、その意味で当事業は意義あるものであると考える。</p>	
【公平性・透明性】	A	<p>■地域との関わり方を見直す市内プロジェクト 特定の対象に限ることなくワークショップを開催し、様々な団体、年齢の市民から意見を聴取したうえで、部門横断的なプロジェクトメンバーにより地域が抱える問題等の検討を行うことができた。</p> <p>■ゆいねっと 利用者を制限することなく、誰でも公平に使えるサイトとなっている。なお、市民活動の推進を目的とするため、利用が無料であるのは適切であると考えます。</p>	
【優位性・独自性】	A	<p>■県内他市の地域の担い手づくりに向けた取り組み状況 ●桐生市 名称：地域づくりワークショップ 所管：市民生活課 内容：ワークショップ（R1年度はコロナウイルス感染症により中止） ○前橋市 名称：前橋の地域若者会議 所管：生活課 内容：交流会 座談会等 ○高崎市 なし ○伊勢崎市 なし ○太田市 なし ○みどり市 なし</p> <p>■県内他市におけるボランティア等における応募機能を有するポータルサイトの状況。 マッチング機能を有する市民活動のポータルサイトは、県内において桐生市のみに存在する。</p>	
【その他（特記事項）】		<p>※書面審査を行う上で、説明しておくべき事項を記載 例：補助金の交付における補助対象事業の総事業費など</p>	

A：適切である。（既に必要な見直しを行っている場合を含む。）

B：概ね適切であるが、改善の余地はある。

C：見直しが必要である。

IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和元年度	最終評価結果	最終評価結果に対する具体的な改善内容等（担当課意見）
	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p style="text-align: center;">執行方法等の工夫・見直し</p> <p>市民活動の推進にあたり、ゆいねっとの運営関係者による利用促進を図るための会議を定期的で開催し、その提案を基にトップ画面の改良や登録方法の改善を行った。また、若年層の登録増を図るため市内の高校へ訪問しPRを行った。なお、財源確保に向けたバナー広告の事業者募集は、CSR活動に積極的に取り組んでいる市内企業を中心に、今後も働きかけをすることが必要である。</p>

V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

評価段階	今後の方向性	改善点・見直し(案)等
一次評価 (担当課評価)	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p style="text-align: center;">執行方法等の工夫・見直し</p> <p>地域との関わり方を見直す市内プロジェクトについては、昨年度をもって解散となったが、行政と地域との関わり方については、継続して検討していく必要があると思われる。今後は、市長公約にある市民の皆さんと共に考え、共に創るための場の構築について検討を進める。ゆいねっとについては、利用者が実際にどのように当サイトを活用しているのか分析することで、費用に対する効果がより得られる運営方法について検討していく。</p>
二次評価 (内部評価)	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p style="text-align: center;">執行方法等の工夫・見直し</p> <p>意見 一次評価のとおり、今後も持続可能な地域づくりのために地域の問題は地域で解決できるような行政と地域との関係について検討していく必要がある。 また、ゆいねっとについて、若年層向けの情報発信を進めるなど利用者拡大を図るとともに、バナー広告の事業者募集についても工夫し、財源確保に努められたい。</p>
外部評価	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p style="text-align: center;">執行方法等の工夫・見直し</p> <p>意見</p>
最終評価	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p style="text-align: center;">執行方法等の工夫・見直し</p> <p>意見 二次評価のとおり</p>

令和2年度（令和元年度分） 桐生市事務事業総合評価票

I 事業の位置付けと概要

1 1 事務事業名		犬登録事業		整理番号	11						
2 予算科目		4 款	1 項	3 目	6 根拠法令等（主なもの）	7 新生総合計画での位置付け（基本計画）	○				
3 事業期間		平成12年度から		年度まで	狂犬病予防法	8 総合戦略への掲載					
4 事務分類		○ 法定受託事務		自治事務	桐生市狂犬病予防に関する規則	9 市政運営方針での位置付け					
5 国県補助					桐生市狂犬病予防注射等実施要項	10 市長公約での位置付け	無 No				
11 事業概要	目的			誰・何を（対象）				どのような状態にしたいか（意図）			
	市内で飼われている犬			登録と年1回の狂犬病予防注射の実施							
	方法			○ 直接実施 ○ 委託・指定管理 補助金 貸付 その他（ ）							
12 主な業務内容（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）											
業務名		業務内容概要									
犬の登録及び狂犬病予防注射手続き		犬の新規登録や狂犬病予防注射に関する手数料の徴収や鑑札、注射済票の交付を行った。									
動物病院との事務委託契約の締結		桐生地区獣医師会並びに桐生市及びみどり市で開業している動物病院と事務委託契約を締結した。									
集合注射の実施		犬の飼い主に狂犬病予防注射の通知ハガキを送付し、獣医師会と共に、市内の公民館や集会所等を会場とし、狂犬病予防注射の集合注射を実施した。									
犬の飼い方のマナー啓発		広報きりゅうや集合注射会場でのマナー啓発を行った。また、窓口にて、犬のふんの放置禁止プレートを希望者に対し配付した。									

II 事業実績(DO)

1 事務事業コスト		単位	30年度（実績）		令和元年度（実績）		令和2年度（見込み）		
コスト	事業費(人件費除く。)		千円	845		1,106		1,443	
	人件費		千円	4,464		4,464		4,464	
	内訳	職員	人/千円	0.62人	4,464	0.62人	4,464	0.62人	4,464
		嘱託・臨時職員・パート	人/千円		0		0		0
	総コスト		千円	5,309		5,570		5,907	
市民1人あたり（R2.3.31時点）		円	48		51		54		
財源内訳	国・県支出金		千円						
	起債		千円						
	受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）		千円	2,828		2,774		2,426	
	その他特財 一般財源		千円	2,481		2,796		3,481	
2 活動指標	狂犬病予防注射通知ハガキの送付枚数	目標値	通	6,860		6,720		6,500	
		実績値	通	6,541		6,395			
		達成度	%	95.3		95.2		0.0	
	狂犬病予防注射の広報による周知	目標値	回	2		2		2	
		実績値	回	2		2			
		達成度	%	100.0		100.0		0.0	
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	狂犬病予防注射実施件数	目標値	件	4,930		4,881		4,846	
		実績値	件	3,574		3,424			
		達成度	%	72.5		70.1		0.0	
	狂犬病予防注射接種率	目標値	%	100		100		100	
		実績値	%	75		73			
		達成度	%	75.0		72.5		0.0	

III 事業の評価(CHECK)

事務事業名

犬登録事業

どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。

【有効性】	A	<p>市に登録されている犬の約72.5%が狂犬病予防注射を受けた。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>登録頭数</td> <td>4,930頭</td> <td>4,881頭</td> <td>4,846頭</td> </tr> <tr> <td>注射実施頭数</td> <td>3,666頭</td> <td>3,531頭</td> <td>3,387頭</td> </tr> <tr> <td>接種率</td> <td>76.6%</td> <td>75.0%</td> <td>72.5%</td> </tr> </table> <p>※接種率は病気等の猶予犬等を控除して算定。 ※世界保健機関(WHO)は「狂犬病の流行を阻止するにはワクチン注射率は70%以上必要」としています。</p>		H29	H30	R1	登録頭数	4,930頭	4,881頭	4,846頭	注射実施頭数	3,666頭	3,531頭	3,387頭	接種率	76.6%	75.0%	72.5%									
	H29	H30	R1																								
登録頭数	4,930頭	4,881頭	4,846頭																								
注射実施頭数	3,666頭	3,531頭	3,387頭																								
接種率	76.6%	75.0%	72.5%																								
・得られた成果と効果を記載 (成果指標の達成度に対する評価 及び過去との比較検討も含めて)																											
【効率性】	A	<p>登録時の鑑札や狂犬病予防注射済票の交付手数料で、事業費がまかなえている。(人件費除く)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">R1歳入</td> <td colspan="2">R1歳出</td> </tr> <tr> <td>登録手数料</td> <td>873,000円</td> <td></td> <td>需用費</td> <td>140,501円</td> </tr> <tr> <td>狂犬病予防注射</td> <td>1,862,850円</td> <td></td> <td>役務費</td> <td>401,870円</td> </tr> <tr> <td>鑑札等再交付手数料</td> <td>38,840円</td> <td></td> <td>委託料</td> <td>562,956円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,774,690円</td> <td></td> <td>合計</td> <td>1,105,327円</td> </tr> </table>		R1歳入		R1歳出		登録手数料	873,000円		需用費	140,501円	狂犬病予防注射	1,862,850円		役務費	401,870円	鑑札等再交付手数料	38,840円		委託料	562,956円	合計	2,774,690円		合計	1,105,327円
	R1歳入		R1歳出																								
登録手数料	873,000円		需用費	140,501円																							
狂犬病予防注射	1,862,850円		役務費	401,870円																							
鑑札等再交付手数料	38,840円		委託料	562,956円																							
合計	2,774,690円		合計	1,105,327円																							
・費用対効果の面から記載																											
【必要性】	A	<p>社会情勢や経年による変化を踏まえても、事業の意義は保たれており、市が実施すべき事業である。年々接種率が低下しているため、70%以上を保つ施策を実施する必要がある。また、桐生獣医師会の獣医師が70歳定年を迎えるなか、集合注射の見直し等の課題がある。</p>																									
・事業を継続することの意義、 見込み数の変動等を記載 (事業の将来への見直し及び 事業推進に当たっての課題等)																											
【公平性・ 透明性】	A	<p>登録手数料、狂犬病予防注射済票の交付手数料は全国でほぼ同額であり、受益者負担は適切である。</p>																									
・公平性が確保されているか、 受益者負担は適切か、積極的に 情報公開がされているかなどに ついて記載																											
【優位性・ 独自性】	A	<p>全国的に同様の事業を行っている。</p>																									
・他の自治体(同様事業含む)との比較 及び優位性・独自性があれば記載 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、 太田市、みどり市」の状況に ついては、可能な限り記入する。																											
【その他(特記事項)】		<p>※書面審査を行う上で、説明して おくべき事項を記載 例：補助金の交付における補助対象 事業の総事業費など</p>																									

A：適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。)

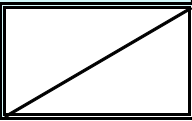
B：概ね適切であるが、改善の余地はある。

C：見直しが必要である。

IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和元年度	最終評価結果	最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見)
	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p>執行方法等 の工夫・見 直し</p>

V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価 (担当課評価)	今後の方向性	改善点・見直し(案)等
	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p>執行方法等 の工夫・見 直し</p>
二次評価 (内部評価)	今後の方向性	意見
	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p>執行方法等 の工夫・見 直し</p>
外部評価	今後の方向性	意見
	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	
最終評価	今後の方向性	意見
	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p>執行方法等 の工夫・見 直し</p>

令和2年度（令和元年度分） 桐生市事務事業総合評価票

I 事業の位置付けと概要

1 事務事業名		自転車駐車場管理事業		整理番号	12				
2 予算科目		2 款 7 項 2 目		担当	市民生活部 地域づくり課 生活安全係				
3 事業期間		平成25 年度から 年度まで		6 根拠法令等（主なもの）	7 新生総合計画での位置付け（基本計画）				
4 事務分類		法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務			8 総合戦略への掲載				
5 国県補助					9 市政運営方針での位置付け				
					10 市長公約での位置付け 無 No				
11 事業概要		目的		誰・何を（対象）		どのような状態にしたいか（意図）			
		方法		直接実施 <input type="radio"/> 委託・指定管理		補助金 貸付 その他（ ）			
		事業概要		桐生駅・新桐生駅・天王宿駅自転車駐車場		自転車利用者の利便性の向上を図るため、整理整頓・清掃を定期的に実施する。			
		事務事業の詳しい内容（R1年度実施した内容を必ず記載）							
		3駅の自転車利用者の利便を図るとともに、駅周辺の環境を整備することで違法駐車や路上駐車を抑止し、道路交通の円滑化を図ることを目的に無料の自転車駐車場を設置している。桐生駅自転車駐車場は駅周辺も含め清掃を週3回実施するためシルバー人材センターへ委託し、新桐生駅及び天王宿駅は職員が毎日、巡回を行っている。管理している自転車駐車場は、管理要綱等に基づき、長期間放置状態にある自転車の撤去作業等を年に3～4回実施している。また、平成12年度から保管期間を経過した放置自転車は、廃棄処分やリサイクル等を行っている。							
12 主な業務内容						（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）			
		業務名				業務内容概要			
		自転車駐車場内整理整頓				新桐生駅・天王宿駅は、毎日職員が巡回し整理整頓及び清掃を行う。桐生駅自転車駐車場は、駅周辺の清掃を含めシルバー人材センターへ委託をして維持管理を行う。			
		放置自転車撤去作業				長期間放置されている自転車に警告札を貼付けた後、さらに2週間以上経過した自転車を撤去し保管する。			
		放置自転車返却作業				防犯登録・車体番号から判明した所有者に返却通知を発送し返却に立ち会う。			
		放置自転車廃棄作業				リサイクル可能な自転車は自転車商組合やNPO法人へ無償で譲渡し再利用する。廃棄依頼のあった自転車については処分を行う。			

II 事業実績(DO)

1 事務事業コスト		単位	30年度（実績）		令和元年度（実績）		令和2年度（見込み）		
コスト	事業費(人件費除く。)		千円	1,721		1,587		1,647	
	人件費		千円	2,627		1,944		1,944	
	内訳	職員	人/千円	0.25人	1,800	0.22人	1,584	0.22人	1,584
		嘱託・臨時職員・パート	人/千円	0.4人	827	0.2人	360	0.2人	360
	総コスト		千円	4,348		3,531		3,591	
市民1人あたり（R2.3.31時点）		円	40		32		33		
財源内訳	国・県支出金		千円						
	起債		千円						
	受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）		千円						
	その他特財 一般財源		千円	4,348		3,531		3,591	
2 活動指標	撤去台数	目標値	台						
		実績値	台	181		157			
			達成度	%	#DIV/O!		#DIV/O!		#DIV/O!
		目標値	台						
実績値		台							
		達成度	%	#DIV/O!		#DIV/O!		#DIV/O!	
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	返還台数（返還率）	目標値	台	181		157			
		実績値	台	61		31			
			達成度	%	33.7		19.7		#DIV/O!
	リサイクル台数（リサイクル率）	目標値	台						
実績値		台	100台(55.2%)		75台(47.8%)				
		達成度	%	#VALUE!		#VALUE!		#DIV/O!	

III 事業の評価(CHECK)

事務事業名	自転車駐車場管理事業
-------	------------

どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。	
【有効性】	A 現在、長期間放置されている自転車は、桐生駅の自転車駐車場へ集約し保管している。年3~4回の撤去作業を行うことで、利用スペースを確保するとともに、利用者の目に触れることで長期間放置した場合、撤去されるという認識を持ってもらうことができている。 【参考】 平成27年度まではすべての自転車を清掃管理事務所へ集約し返還作業を実施していたため、撤去の際の運搬、返還の際の往復移動に手間が掛かっていた。また、返還台数も低いものであった。
【効率性】	A 桐生駅自転車駐車場については、シルバー人材センターへ委託していることにより、駅周辺及び駐車場内を比較的きれいに保つことができている。 放置自転車の撤去作業については、撤去台数すべてを所有者に返還することが理想ではあるが、困難であると考えている。返却意志のない自転車については、一部をイベントや海外支援のためにリサイクルを行い、処分に係る費用を削減している。
【必要性】	A ・事業を継続することの意義、見込み数の変動等を記載(事業の将来への見通し及び事業推進に当たっての課題等) ・施設については老朽化が目立ち始めており、今後、大規模改修や修繕費用が発生することが見込まれる。 ・利用者の利用マナーが問題であり、マナーの向上をどう行っていくかが課題である。
【公平性・透明性】	A 自転車駐車場は、誰でも利用することができるよう整備している。 また、長期間の放置により自転車を撤去する際は、撤去の公示を行ったり、処分の前に所有者へはがきで通知するなど、公平性・透明性は確保されている。
【優位性・独自性】	A 他市では桐生市同様、自転車駐車場の設置は市で行っており、設置場所については、鉄道会社との賃貸借契約もしくは官地を利用し設置している。 賃貸借契約については、桐生市を含め無償で借りている市が大半であるが、一部有償で鉄道会社と契約している市もある。 また、管理形態については、委託・指定管理者・直営など、各市とも設置駅によって異なる。
【その他(特記事項)】	※書面審査を行う上で、説明しておくべき事項を記載 例：補助金の交付における補助対象事業の総事業費など

A：適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。)

B：概ね適切であるが、改善の余地はある。

C：見直しが必要である。

IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和元年度	最終評価結果	最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見)
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等の工夫・見直し 新桐生駅前広場整備に伴い、自転車駐車場の状況が変わったため、様子を見ながら管理事業の委託について検討する。 リサイクル可能な自転車の売却については、他市の状況も勘案しながら研究していく。

V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価 (担当課評価)	今後の方向性	改善点・見直し(案)等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等の工夫・見直し 新桐生駅前自転車駐車場は令和2年度中に完成予定のため、様子を見ながら管理事業の委託について検討する。 リサイクル可能な自転車の売却については、他市の状況も勘案しながら慎重に検討していく。
二次評価 (内部評価)	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	一次評価のとおり。 新桐生駅前自転車駐車場におけるシルバー人材センターへの委託やリサイクル可能な自転車の売却を検討するなど、効果的、効率的な事業運営を図られたい。
外部評価	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	
最終評価	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	二次評価のとおり

令和2年度（令和元年度分）

桐生市事務事業総合評価票

I 事業の位置付けと概要

1 事務事業名		戸籍住民基本台帳管理事業		整理番号	13																		
2 予算科目		2 款 3 項 1 目		担当	部・局 市民生活部 課・所・室 市民課 係(担当) 戸籍係・住民係																		
3 事業期間		年度から 年度まで		6 根拠法令等（主なもの）	7 新生総合計画での位置付け（基本計画）																		
4 事務分類		○ 法定受託事務 ○ 自治事務		戸籍法	8 総合戦略への掲載																		
5 国県補助				住民基本台帳法	9 市政運営方針での位置付け																		
					10 市長公約での位置付け No																		
11 事業概要	目的			誰・何を（対象）																			
	桐生市に本籍や住所を有する者等			どのような状態にしたいか（意図）																			
	対象者に関する戸籍・住基事務の適正な執行																						
11 事業概要	方法			どのような状態にしたいか（意図）																			
	○ 直接実施 委託・指定管理 補助金 貸付 その他（ ）																						
	事務事業の詳しい内容（R1年度実施した内容を必ず記載）																						
戸籍に関する各種届出の受理 戸籍に関する各種異動処理 戸籍に関する各種証明書の交付 印鑑登録証明事務 住民票に関する各種届出の受理 住民票に関する各種異動処理 住民票・戸籍の附票に関する各種証明書の交付 令和元年度各種証明書等実績（支所分を除く） <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>・戸籍関係証明書</td> <td>29,452件</td> <td>16,830,750円</td> </tr> <tr> <td>・住基関係証明書</td> <td>43,278件</td> <td>15,147,300円</td> </tr> <tr> <td>・印鑑登録証明書</td> <td>25,643件</td> <td>8,975,050円</td> </tr> <tr> <td>・印鑑登録等</td> <td>3,900件</td> <td>965,300円</td> </tr> <tr> <td>・諸証明</td> <td>1,204件</td> <td>391,300円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>103,477件</td> <td>42,309,700円</td> </tr> </table>						・戸籍関係証明書	29,452件	16,830,750円	・住基関係証明書	43,278件	15,147,300円	・印鑑登録証明書	25,643件	8,975,050円	・印鑑登録等	3,900件	965,300円	・諸証明	1,204件	391,300円	計	103,477件	42,309,700円
・戸籍関係証明書	29,452件	16,830,750円																					
・住基関係証明書	43,278件	15,147,300円																					
・印鑑登録証明書	25,643件	8,975,050円																					
・印鑑登録等	3,900件	965,300円																					
・諸証明	1,204件	391,300円																					
計	103,477件	42,309,700円																					
12 主な業務内容（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）																							
業務名		業務内容概要																					
戸籍事務		戸籍に関する各種届書の受理、戸籍の異動処理、各種戸籍証明書の交付																					
印鑑登録証明事務		印鑑登録、異動処理、印鑑登録証明書の交付																					
住民基本台帳事務		住民票に関する各種届出の受理、住民票の異動処理、各種住民票に関する証明書の交付																					

II 事業実績(DO)

1 事務事業コスト		単位	30年度（実績）		令和元年度（実績）		令和2年度（見込み）		
コスト	事業費(人件費除く。)		千円	14,301		14,421		14,413	
	人件費		千円	96,480		96,480		96,480	
	内訳	職員	人/千円	12.4人	89,280	12.4人	89,280	12.4人	89,280
		嘱託・臨時職員・パート	人/千円	4人	7,200	4人	7,200	4人	7,200
	総コスト		千円	110,781		110,901		110,893	
市民1人あたり（R2.3.31時点）		円	1,012		1,013		1,013		
財源内訳	国・県支出金		千円	109		92		109	
	起債		千円						
	受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）		千円	44,630		42,309		44,334	
	その他特財 一般財源		千円	66,042		68,500		66,450	
2 活動指標	各種証明書交付件数（支所分を除く）		目標値	件			107,238		
			実績値	件	109,241		103,477		
			達成度	%			0.0		
			目標値						
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	各種証明書交付手数料（支所分を除く）		目標値	円			44,334,500		
			実績値	円	44,630,550		42,309,700		
			達成度	%			0.0		
			目標値						

III 事業の評価(CHECK)

事務事業名

戸籍住民基本台帳管理事業

どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。

【有効性】	A	届書類の迅速かつ正確な処理によって、戸籍や住民基本台帳が適切に整備され、公証機能を果たしている。各種証明書の交付にあたっては定められた手数料が確実に納入されている。
【効率性】	A	合理的な事務執行により、事業費（人件費を除く）が受益者負担額を大幅に下回っており効率的に実施している。
【必要性】	A	戸籍については、個人の親族的な身分関係を記載し、公証することを目的とする重要な公簿である。また、関係法令に基づき、住民基本台帳を整備し、住民に関する正確な記録が行われている。今後も、社会情勢の変化や住民のニーズを踏まえてつつ、法令に従い適正に執行していく責務がある。
【公平性・透明性】	A	関係法令に基づき、個人情報の取り扱いに留意しながら適正に執行している。各種証明書は原則として有料であり、受益者に負担を課している。各種手続きの案内や取り扱い時間などの情報を、ホームページや広報きりゆうを活用し発信している。
【優位性・独自性】	B	近隣に商業施設内にサービスセンターを設置している市もあるが、設置には多額の費用が必要なため、桐生市ではサービスセンターを設置せず、窓口開設時間を工夫するなどして、最低限の費用で利便性の向上に努めている。 前橋市・高崎市・伊勢崎市・太田市は商業施設内にサービスセンターを設置
【その他（特記事項）】		※書面審査を行う上で、説明しておくべき事項を記載 例：補助金の交付における補助対象事業の総事業費など

A：適切である。（既に必要な見直しを行っている場合を含む。）

B：概ね適切であるが、改善の余地はある。

C：見直しが必要である。

IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和元年度	最終評価結果	最終評価結果に対する具体的な改善内容等（担当課意見）
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	R1評価 未実施

V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価 (担当課評価)	今後の方向性	改善点・見直し(案)等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	現状のまま維持 今後も、社会情勢の変化や住民のニーズを踏まえてつつ、法令に従い適正に執行していく。
二次評価 (内部評価)	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等の工夫・見直し 本事業に関しては、総合窓口の検討、マイナンバーカードを活用した証明発行業務及び窓口の民間委託の検討など、今後の窓口改革の中心となる分野であるため、先進事例を参考にするなど研究、検討を進められたい。
外部評価	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	
最終評価	今後の方向性	意見
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等の工夫・見直し 二次評価のとおり

令和2年度（令和元年度分） 桐生市事務事業総合評価票

I 事業の位置付けと概要

1 事務事業名		管理事業（斎場）		整理番号	14	
2 予算科目		4 款 1 項 7 目		担当	市民生活部 市民生活課 斎場管理事務所	
3 事業期間		昭和57 年度から 年度まで		7 新生総合計画での位置付け（基本計画）		
4 事務分類		法定受託事務 ○ 自治事務		8 総合戦略への掲載		
5 国県補助		なし		9 市政運営方針での位置付け		
		共同事業実施に係る覚書、みどり市と桐生市との間における斎場事務の委託に関する規約		10 市長公約での位置付け No		
目的		誰・何を（対象）		どのような状態にしたいか（意図）		
		桐生市並びにみどり市民及び他市町村住民		行政区域の枠を超えたサービスの提供、利便性、効率性を考慮した、安全で継続的な施設運営。		
方法		○ 直接実施 委託・指定管理 補助金 貸付		その他（ ）		
11 事業概要						
事務事業の詳しい内容（R1年度実施した内容を必ず記載） ・火葬業務：遺体の火葬、手術肢体・胞衣・小動物の焼却、葬祭式場に係る設営業務。 ・管理業務：施設利用予約等管理事務。 ・対象者：桐生市民、みどり市民及び桐生市斎場での火葬許可を受けた管外住民。 ・手術肢体・胞衣等・小動物：桐生市・みどり市住民に限る。 ・実施形態：直営。 【施設使用実績】 みどり市と締結した「共同事業実施に関する覚書」に基づき、みどり市分を受託。負担割合は処理件数割 ・火葬：桐生市・みどり市住民2,208件 管外住民257件 計2,465件 ・手術肢体・胞衣等・小動物の焼却：959件 ・式場使用：桐生市・みどり市住民144件 管外住民3件 計 147件 【管理事業歳出総額】 77,855千円 【主な歳入】 斎場使用料：40,613千円（市民課取扱分）、41,758千円（両支所分含む） 斎場受託事業収入：27,013千円						
12 主な業務内容（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）						
業務名		業務内容概要				
遺体受入れ		遺体が斎場へ到着し、荼毘に付され、収骨するまでの作業。				
火葬炉運転		遺体の火葬、手術肢体・胞衣等・小動物の焼却に係る機器操作。				
葬祭式場設営		利用者への貸出準備、設営など。				
施設利用予約管理		市民課などの窓口で発行された許可証と予約の日程管理、執行台帳等の調整。				
施設管理		施設清掃・警備・火葬炉の管理等一部業務委託の管理、施設・設備の維持補修、改修工事等計画実施。				

II 事業実績(D0)

1 事務事業コスト		単位	30年度（実績）		令和元年度（実績）		令和2年度（見込み）			
コスト		事業費(人件費除く。)	千円	75,345		78,759		85,609		
		人件費	千円	65,526		72,576		72,576		
		内訳	職員	人/千円	8.1人	58,320	9.58人	68,976	9.58人	68,976
			嘱託・臨時職員・パート	人/千円	3人	5,400	2人	3,600	2人	3,600
		総コスト		千円	140,871		151,335		158,185	
市民1人あたり（R2.3.31時点）		円	1,287		1,382		1,445			
財源内訳		国・県支出金	千円							
		起債	千円							
		受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）	千円	43,183		41,758		43,828		
		その他特財	千円	28,307		27,013		29,655		
		一般財源	千円	69,381		82,564		84,702		
2 活動指標		年間斎場稼働日数	目標値	日	299		300		300	
			実績値	日	299		302			
		達成度	%	100.0		100.7		0.0		
		目標値	実績値							
			達成度	%						
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)		火葬炉使用件数	目標値	件	4,485		4,500		4,000	
			実績値	件	2,493		2,465			
			達成度	%	55.6		54.8		0.0	
		焼却炉使用件数	目標値	件	1,495		1,500		1,500	
			実績値	件	959		959			
			達成度	%	64.1		63.9		0.0	

III 事業の評価(CHECK)

		事務事業名	管理事業（斎場）	
どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。				
【有効性】	B	成果と効果はまだ出ておりませんが、施設整備については、桐生市公共施設等総合管理計画に沿った施設の縮小について検討を進めております。また、管理運営については、民間活力導入等の調査研究を進めております。		
・得られた成果と効果を記載 (成果指標の達成度に対する評価及び過去との比較検討も含めて)				
【効率性】	A	火葬1件当たりのコストと受益者負担額 火葬1件当たりの受益者負担額 火葬1件当たりのコスト負担額		
・費用対効果の面から記載		火葬1件当たりの受益者負担額 H30 R元 R2	火葬1件当たりの受益者負担額 (歳出総額÷火葬件数) 57千円 62千円 40千円	火葬1件当たりのみどり市委託費 (みどり市からの斎場受託事業収入) 18千円 17千円 11千円
【必要性】	B	火葬業務を担う施設の特殊性に加え、葬祭事業者が携わる式場利用など、斎場業務に関する利用者受入手順や施設の稼働状況、ランニングコストなどを機会あるごとに検証し、効率的な業務運営に努めています。尚、火葬件数は、2030年頃にはピークを迎えることが見込まれており、今後も施設整備計画の検証及び整備方針案の計画について早急に検討する。		
・事業を継続することの意義、見込み数の変動等を記載 (事業の将来への見通し及び事業推進に当たっての課題等)				
【公平性・透明性】	B	関係法令に基づき、個人情報の取り扱いに留意しながら適正に執行している。各種手続きの案内や取り扱い時間などの情報を、ホームページ等を活用し発信している。		
・公平性が確保されているか、受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどについて記載				
【優位性・独自性】	B	本市斎場は直営であるが、他市は指定管理者制度や委託を実施しています。 ・前橋市斎場：一部（火葬業務）民間委託、施設管理は直営。 ・高崎市斎場：指定管理 ・伊勢崎市斎場：直営（単独、一部委託）だが、指定管理等への移行を検討中 ・太田市斎場：指定管理 ・みどり市：桐生市斎場に業務委託。		
・他の自治体(同様事業含む)との比較及び優位性・独自性があれば記載 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、みどり市」の状況については、可能な限り記入する。				
【その他（特記事項）】		※書面審査を行う上で、説明しておくべき事項を記載 例：補助金の交付における補助対象事業の総事業費など		

A：適切である。（既に必要な見直しを行っている場合を含む。）

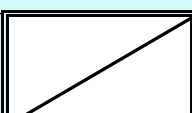
B：概ね適切であるが、改善の余地はある。

C：見直しが必要である。

IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和元年度	最終評価結果	最終評価結果に対する具体的な改善内容等（担当課意見）
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等の工夫・見直し 民間活力導入については、調査研究を行っているところである。施設整備については、桐生市公共施設等総合管理計画に沿って調査研究を行っているところである。修繕等については、優先度や必要性を考慮し必要最小限度に努めているところである。

V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価 (担当課評価)	今後の方向性	改善点・見直し(案)等
	現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	執行方法等の工夫・見直し 施設整備においては、斎場施設整備事業（0予算事業）において、桐生市公共施設等総合管理計画に沿った施設の縮小も視野に入れながら検討を進めている。管理運営については桐生市行政改革方針に沿って、民間活力導入の調査研究を進めている。
二次評価 (内部評価)	今後の方向性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	意見 斎場については、他自治体も民間活力の導入が進んでいる状況である。行革実施計画においても、斎場に関しては、令和4年度からの導入となっている。施設整備との関係もあるが、これまで長期にわたり研究・検討してきた成果を早急に整理し、指定管理者制度の導入など具体的な施策として方針を立て、計画に沿って施策実現を図りたい。
外部評価	今後の方向性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	意見 
最終評価	今後の方向性 現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了	意見 二次評価のとおり

令和2年度（令和元年度分）

桐生市事務事業総合評価票

I 事業の位置付けと概要

1 事務事業名		ニューイヤー駅伝事業		整理番号	15		
2 予算科目		10 款	7 項	2 目	6 根拠法令等（主なもの）	7 新生総合計画での位置付け（基本計画）	○
3 事業期間		平成13 年度から	年度まで		スポーツ基本法	8 総合戦略への掲載	
4 事務分類		法定受託事務	○	自治事務		9 市政運営方針での位置付け	
5 国県補助						10 市長公約での位置付け	無 No
目的		誰・何を（対象）		どのような状態にしたいか（意図）			
		市民並びにランナー		全国からトップランナーが集結する歴史と伝統あるスポーツイベントの安全を確保する。			
方法		直接実施	○	委託・指定管理	補助金	貸付	その他（ ）
11 事務事業の詳しい内容（R1年度実施した内容を必ず記載）							
<p>事業概要</p> <p>本駅伝大会は、日本の中・長距離界のトップランナーが集結する歴史と伝統あるスポーツイベントである。群馬県開催となってから33回、さらに、桐生市へ走路変更されてから20回目を迎えた。群馬県からの協力依頼を受け、選手・関係者が安全・安心に大会に臨めるよう、桐生警察署及び桐生市陸上競技協会と連携し、万全の準備を行い、大会を支援した。さらに、18の関係団体により実行委員会を組織し、応援する市民の活力と魅力ある桐生を全国に発信していくことができた。</p>							
12 主な業務内容（どのような業務を行っているか。事務量が多い業務を5つ以内で記載）							
業務名		業務内容概要					
桐生市実行委員会の開催		第1回（8月）・第2回（11月）・第3回（2月）開催					
各種団体への協力依頼		イベント・係業務・事務局・安全対策等の依頼					
各係員との打ち合わせ会議開催		タイムスケジュール・役割の確認					

II 事業実績(DO)

1 事務事業コスト		単位	30年度（実績）		令和元年度（実績）		令和2年度（見込み）		
コスト	事業費(人件費除く。)		千円	924		1,059		1,252	
	人件費		千円	8,932		8,928		8,928	
	内訳	職員	人/千円	1.1人	7,920	1.14人	8,208	1.14人	8,208
		嘱託・臨時職員・パート	人/千円	1人	1,800	0.4人	720	0.4人	720
	総コスト		千円	9,856		9,987		10,180	
市民1人あたり（R2.3.31時点）		円	90		91		93		
財源内訳	国・県支出金		千円						
	起債		千円						
	受益者負担額（負担金、使用料、手数料、実費）		千円						
	その他特財		千円						
一般財源		千円	9,856		9,987		10,180		
2 活動指標	コース上における班数	目標値	班	49		49		49	
		実績値	班	49		49			
		達成度	%	100.0		100.0		0.0	
	大会終了後、各班長からの問題点等の報告件数	目標値	件	77		100		38	
		実績値	件	100		38			
		達成度	%	129.9		38.0		0.0	
3 成果指標 (数値化が困難な場合はその理由も記載)	沿道整理員（陸協・警察と協議した適正配置の結果による）	目標値	カ所	501		481		478	
		実績値	カ所	481		478			
		達成度	%	96.0		99.4		0.0	
	問題点や次回大会の班長への引継ぎも兼ねているため、数値化するの難しい。	目標値							
	実績値								
	達成度	%							

III 事業の評価(CHECK)

事務事業名

ニューイヤー駅伝事業

どのような成果と効果が得られたか、可能な限り定量的に示す。また、評価に対する説明を分かりやすく記載する。	
<p>【有効性】 A</p> <p>・得られた成果と効果を記載 (成果指標の達成度に対する評価及び過去との比較検討も含めて)</p>	<p>ニューイヤー駅伝が桐生市を通過するようになったのは平成13年の第45回大会からであるが、第64回大会を迎えた今も市民の関心は高く、毎年沿道から多くの市民が声援を送っている。また、八木節の実演や豚汁・おしるこの配布も大変ご好評をいただいている。</p>
<p>【効率性】 B</p> <p>・費用対効果の面から記載</p>	<p>ニューイヤー駅伝は群馬県との連携事業である。トップアスリートを間近に見られる機会となっており、毎年大勢の市民が沿道から声援を送るため、選手だけでなく、応援する市民にも安全対策を心がけ運営を行っている。</p>
<p>【必要性】 B</p> <p>・事業を継続することの意義、見込み数の変動等を記載 (事業の将来への見通し及び事業推進に当たっての課題等)</p>	<p>少子高齢化が進み、一般ボランティアの申込者が年々減少傾向にある。そのような状況の中でも安全対策をしっかりと行わなければならない、沿道整理員等の人員確保に毎年苦慮している。</p>
<p>【公平性・透明性】 B</p> <p>・公平性が確保されているか、受益者負担は適切か、積極的に情報公開がされているかなどについて記載</p>	<p>大会終了後、沿道整理員の各班長から反省点や問題点の報告をいただき、次回大会へ向けての改善や安全確保に役立てている。</p>
<p>【優位性・独自性】 B</p> <p>・他の自治体(同様事業含む)との比較及び優位性・独自性があれば記載 ※「前橋市、高崎市、伊勢崎市、太田市、みどり市」の状況については、可能な限り記入する。</p>	<p>各市町村により通過距離や通過場所が異なるため一概に比較するのは難しいが、一人当たりの沿道整理委員の担当距離を比較すると、 前橋市 : 通過距離22.8Km、沿道整理員355人 一人当り64.2m 高崎市 : 通過距離16.3Km、沿道整理員254人 一人当り64.2m 太田市 : 通過距離22.8Km、沿道整理員646人 一人当り35.3m 桐生市 : 通過距離 9.8Km、沿道整理員478人 一人当り20.5m 伊勢崎市 : 通過距離20.3Km、沿道整理員565人 一人当り36.0m という結果がでており、毎年陸協や警察と調整しながら適正な配置に努めている。</p>
<p>【その他(特記事項)】</p> <p>※書面審査を行う上で、説明しておくべき事項を記載 例: 補助金の交付における補助対象事業の総事業費など</p>	<p>応援する市民の活力と、魅力ある桐生を全国に発信するため、八木節の実演をはじめ、豚汁やおしるこをふるまいながら、桐生市実行委員会主催の「歓迎する会」を行っている。</p>

A: 適切である。(既に必要な見直しを行っている場合を含む。)

B: 概ね適切であるが、改善の余地はある。

C: 見直しが必要である。

IV 昨年度フォローアップ調査結果(CHECK)

令和元年度	最終評価結果	最終評価結果に対する具体的な改善内容等(担当課意見)
	<p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p> <p>執行方法等の工夫・見直し</p>	<p>人員配置については毎回検討を行っているところではあり、実施事業を検証し、引き続き適正な配置の検討を行う。</p>

V 事務事業の改善(ACTION・PLAN)

一次評価 (担当課評価)	<p>今後の方向性</p> <p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p> <p>執行方法等の工夫・見直し</p>	<p>改善点・見直し(案)等</p> <p>適正な人員配置や集合時間等の見直しを図る。</p>
	<p>今後の方向性</p> <p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p> <p>執行方法等の工夫・見直し</p>	<p>意見</p> <p>人員配置については、徐々に見直しがされているが、毎回終了後に従事者から適正な人員配置であったか確認を取れば、配置人数はさらに削減可能であると考えられる。 前任者からの指摘事項・指示事項が反映されているかの確認も含めて、現場の声を聞きながら見直しを図りたい。</p>
外部評価	<p>今後の方向性</p> <p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p>	<p>意見</p>
	<p>今後の方向性</p> <p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p> <p>執行方法等の工夫・見直し</p>	<p>意見</p> <p>二次評価のとおり</p>
最終評価	<p>今後の方向性</p> <p>現状のまま維持 執行方法等の工夫・見直し 縮小 終了</p> <p>執行方法等の工夫・見直し</p>	<p>意見</p> <p>二次評価のとおり</p>